

(様式-1)

## 履 歴 書

|                |                  |         |              |   |
|----------------|------------------|---------|--------------|---|
| ふりがな<br>氏名     |                  | 男・女     | 現住所          | 〒<br>TEL (        ) -<br>FAX (        ) -<br>E-mail |
| 生年月日 (年齢)      | (西暦) 年 月 日生 [ 歳] |         |              |   |
| 学 歴            |                  |         | 資格 (免許, 学位等) |   |
| 年月 (西暦)        | 事 項              | 年月 (西暦) | 事 項          |   |
|                |                  |         |              |   |
| 職 事 歴          |                  |         |              |   |
| 年月 (西暦)        | 事 項              |         |              |   |
|                |                  |         |              |   |
| 学会名及び社会における活動等 |                  |         |              |   |
| 年月 (西暦)        | 事 項              |         |              |   |
|                |                  |         |              |   |
| 賞 罰            |                  |         |              |   |
| 年月 (西暦)        | 事 項              |         |              |   |
|                |                  |         |              |   |
| (西暦) 年 月 日     | 上記のとおり相違ありません。   |         |              | 印   |
|                | 氏名               |         |              |   |

<履歴書記載上の注意事項>

1. 年号  
全て西暦で記載してください。
2. 学歴欄  
(1) 大学学部入学以降の学歴を記入願います。  
(2) 研究生等の研究歴があれば記入願います。
3. 資格欄  
免許（登録番号）、専門医等（登録番号）及び学位（授与大学名、学位記番号）等資格を記入願います。
4. 職歴欄  
(1) 職歴（非常勤講師を除く。）は全て記載してください。  
(2) 外国出張、海外研修及び研究休職等のうち、2か月以上のものについて記入願います。  
（注）期間、国名、受入れ機関名及び身分（原語）等を記入願います。
5. 学会及び社会における活動等欄  
(1) 所属する全ての学会名のほか、役職名（評議員等）を期間を付して記入願います。  
(2) 学術雑誌の編集委員等も記入願います。
6. 賞罰欄  
学会賞等の受賞について記入願います。

(様式 2-1)

1. 著書

|  |
|--|
|  |
|--|

(様式 2-2)

2. 原著論文

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page below the header. It is intended for the main text of the original paper.

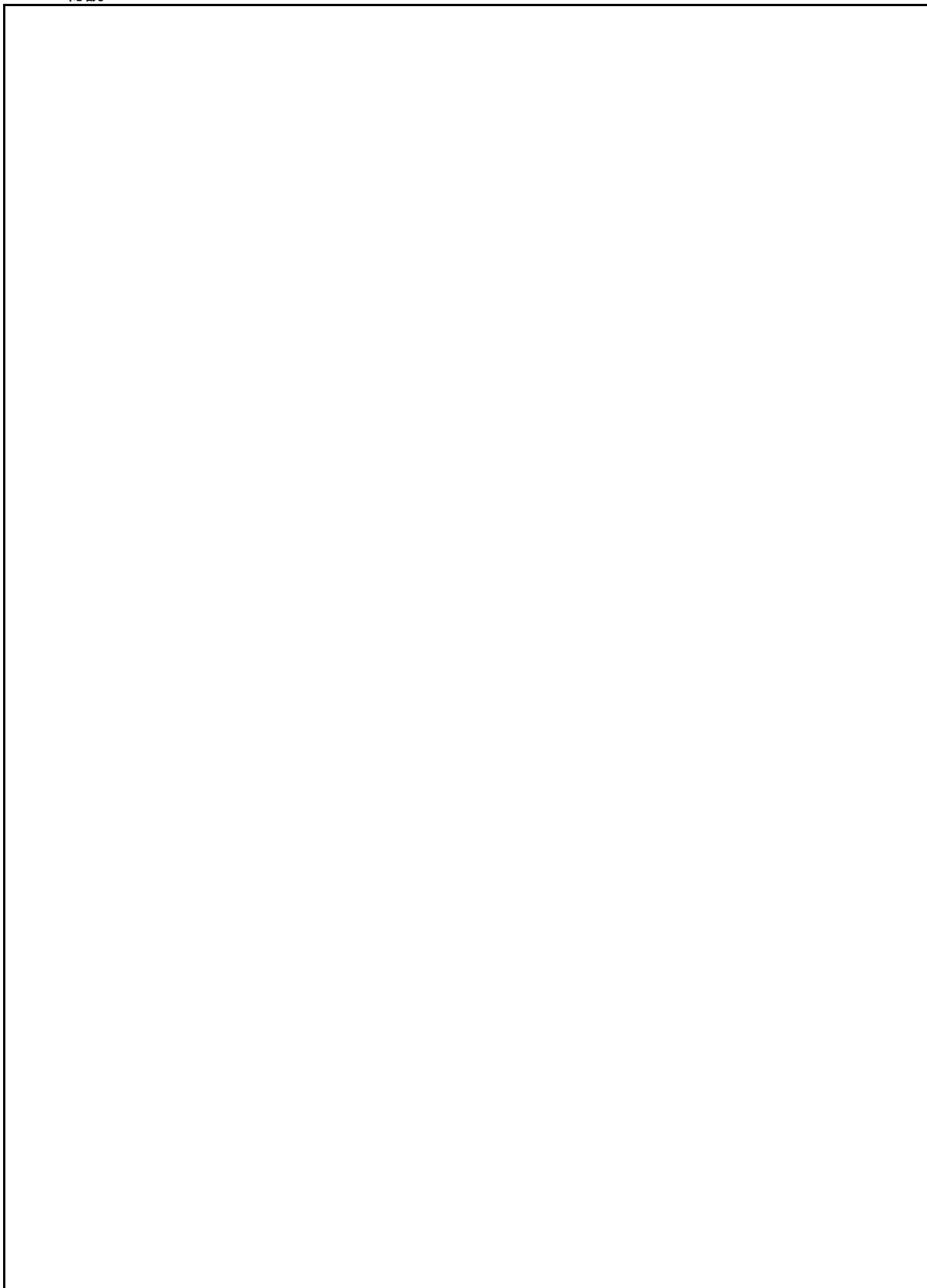
(様式 2-3)

3. 症例報告

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page below the header. It is intended for the user to provide details of a case report.

(様式 2-4)

4. 総説



(様式 2-5)

5. その他

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page below the header. It is intended for the user to provide details for the '5. その他' (Other) category.

(様式 2-6)

6. 学会発表

|  |
|--|
|  |
|--|



<教育研究業績書記載上の注意事項>

1. 類別は、1. 著書、2. 原著論文、3. 症例報告、4. 総説、5. その他、6. 学会発表の順とし、各類別には、まず最初に外国語の論文を、次に日本語の論文をそれぞれ古い方から発表年（西暦）順に記入し、整理番号は、類別ごとに1から記入してください。  
なお、2. 原著論文、3. 症例報告、4. 総説については、査読制のあるものに限定し、最新版（2016年）のI F（インパクトファクター）を記入してください。  
（責任著者には\*を付けてください。）  
また、プロシーディングや文部科学省研究報告書、翻訳書は、「5. その他」に分類してください。
2. 掲載予定の論文には、掲載証明書のコピーを添付してください。
3. 学会発表は、まず最初に国際学会を、次いで国内学会の順に、招へい講演、特別講演シンポジウム（パネルディスカッションやワークショップ等の主題演題を含む。）、一般演題に分けて記入してください。  
なお、一般演題については、国際学会はすべて記載することとしますが、国内学会は記載する必要はありません。
4. 業績は、全員の氏名を記載順に記入し、本人の氏名にアンダーラインを引いてください。
5. 記入にあたっては、10～12Pの文字を使用するとともに、別紙記載例を参考にしてください。

(様式 2-1)

1. 著書

欧 文

1. Tateyama T, Sugitani S  
Metabolism of docosahexaenoic acid in the pineal gland.  
In Fatty acids metabolism in the nervous system, Malsaris W and Ma  
Y-Y (Ed.) , 665-684, Boston, Saunders, 2002
  2. Yakushi Y, Tateyama T, and Sugitani S  
Eicosapentaenoic acid and visual acuity in Japanese.  
In Brain and food : 15th Keystone Conference, Mehta S and Plevin A (Ed.) ,  
London, Academic Press. In press
- :
- :

和 文

1. 立山太郎、杉谷三郎  
脂肪と健康  
実地医家のための生化学シリーズ, 10, 日本臨床生化学会編, 山と溪流社,  
富山, 2006
  2. 薬師由美、立山太郎  
インスリン抵抗性改善薬  
治療薬テキスト98, 川端康茂編, 123-125, 北山堂, 東京, 2008
- :
- :

(様式 2-2)

2. 原著論文

欧 文

1. Tateyama T\*, Tsurugi J, Yakushi Y, Zinzu K, and Dainichi M  
Association between certain foods and risk of cerebrovascular accident in Japanese women.  
Br Med J, 241 : 771-773, 2008 (IF : 14.093)
2. Tsurugi J, Tateyama T\*, Yakushi Y, Zinzu K, and Dainichi M  
Comparison of pulse wave velocity of the aorta between inhabitants of fishing and farming villages in Japan.  
Atherosclerosis, 63 : 162-170, 2011 (IF : 3.794)

・  
・

和 文

1. 立山太郎、剣岩魚、薬師由美、鍬崎山女、神通健二、大日正  
超高齢者における血清脂肪酸組成の検討  
日本動脈硬化学会雑誌, 52 : 654-660, 2009
2. 薬師由美、鍬崎健二、立山太郎、神通健二、大日正  
大動脈脈波伝播速度・・・農村と漁村住民との比較検討  
日本内科学会雑誌, 96 : 750-758, 2010

・  
・

(様式 2-3)

3. 症例報告

欧 文

1. Tateyama T\*, Tsurugi I, Yakushi Y, and Sugitani S  
Autoimmune hyperlipidemia in a patient of systemic lupus erythematosus  
Am J Clin Nutr, 30 : 230-236, 2005 (IF : 6.669)
2. Yakushi Y, Tateyama T\*, Tsurugi I, Kuwasaki M, and Sugitani S  
Cryptococcal pleural effusion in a patient with chronic renal failure receiving  
long term corticosteroid therapy  
N Engl J Med, 285 : 112-115, 2008 (IF : 53.298)

・  
・

和 文

1. 立山太郎、剣岩魚、薬師由美、楢崎山女、大日正  
溪流釣りが原因で発症したと思われる筋挫滅症候群の一例  
日本腎臓病学会雑誌, 29 : 321-326, 2007
2. 剣岩魚、立山太郎、磯野波兵、黒部五郎  
ヤマメ生食が原因となった広節裂頭条虫症の一例  
日本内科学会雑誌, 29 : 321-326, 2009

・  
・

(様式 2-4)

4. 総説

欧 文

1. Tateyama T\* and Sugitani S  
Cardiovascular effects of n-3 fatty acids.  
lancet, 3331 : 449-457, 2002 (IF : 39.060)
2. Tateyama T\*  
N-3 polyunsaturated fatty acids and cytokine production in health and  
disease  
Ann Nutr Metab, 45 : 203-234, 2006 (IF : 1.661)

・  
・

和 文

1. 立山太郎  
EPAの生化学  
喘息, 15 : 35-40, 2005

・  
・

(様式 2-5)

5. その他

欧 文

1. Tateyama I

Fish and health

Proceeding of 16th annual meeting of the American Association of Fishermen and Anglers, 210-222, Baltimore, USA, 2002

・  
・

和 文

1. 立山太郎、黒部五郎、西鎌尾根男、杉谷三郎

ループス肺臓炎の治療

厚生省特定疾患「全身性エリテマトーテス」研究班平成3年度報告書,  
201-230, 2001

2. 立山太郎

ループス腎炎

デュポー 全身性エリテマトーテス 第4版 (日本語翻訳書), 654-720,  
立山書院, 東京, 2005

3. 立山太郎、黒部五郎、西鎌尾根男

DHAと心筋梗塞・不整脈

平成9年度水産資源からのDHA等の抽出精製及び生理機能の研究に関する報告書  
120-145, 社団法人マリノフォーラム21, 2007

(様式2-6)

6. 学会発表

国際学会

○招聘講演

1. Tateyama I

Lyspro in sulin—a new strategy for diabetes therapy  
33rd symposium of diabetes care, Bethesda, MD, USA, 2007

・  
・

○特別講演

・  
・

○シンポジウム

・  
・

○一般演題

・  
・

国内学会

○招聘講演

1. 立山太郎

インスリン作用とその異常-代謝作用から増殖作用まで  
第51回日本糖尿病学会年次学術集会、熊本、2008

・  
・

○特別講演

・  
・

○シンポジウム

・  
・

氏名

## 著書・原著論文等の合計数一覧

| 種 別  |     | 発表年     |             |        |
|------|-----|---------|-------------|--------|
|      |     | 2005年以前 | 2006年～2010年 | 2011年～ |
| 著書   | 外国語 | 編       | 編           | 編      |
|      | 日本語 | 編       | 編           | 編      |
| 原著論文 | 外国語 | 編       | 編           | 編      |
|      | 日本語 | 編       | 編           | 編      |
| 症例報告 | 外国語 | 編       | 編           | 編      |
|      | 日本語 | 編       | 編           | 編      |
| 総説   | 外国語 | 編       | 編           | 編      |
|      | 日本語 | 編       | 編           | 編      |
| その他  | 外国語 | 編       | 編           | 編      |
|      | 日本語 | 編       | 編           | 編      |
| 学会発表 | 外国語 | 編       | 編           | 編      |
|      | 日本語 | 編       | 編           | 編      |

※教育研究業績書に記載した原著論文等の合計数を記入願います。



(様式3)

①過去3年間の血液内科に関する診療実績(入院患者に関するもの)について

【造血器腫瘍(骨髄細胞の腫瘍)】

| 疾患名             | 件数       | コメント |
|-----------------|----------|------|
| 1 急性骨髄性白血病      | 担当医として 件 |      |
|                 | 指導医として 件 |      |
| 2 骨髄異形成症候群(MDS) | 担当医として 件 |      |
|                 | 指導医として 件 |      |
| 3 慢性骨髄性白血病      | 担当医として 件 |      |
|                 | 指導医として 件 |      |

【造血器腫瘍(リンパ球の腫瘍)】

| 疾患名             | 件数       | コメント |
|-----------------|----------|------|
| 1 急性リンパ球性白血病    | 担当医として 件 |      |
|                 | 指導医として 件 |      |
| 2 成人T細胞白血病/リンパ腫 | 担当医として 件 |      |
|                 | 指導医として 件 |      |
| 3 慢性リンパ性白血病     | 担当医として 件 |      |
|                 | 指導医として 件 |      |
| 4 非ホジキンリンパ腫     | 担当医として 件 |      |
|                 | 指導医として 件 |      |
| 5 ホジキンリンパ腫      | 担当医として 件 |      |
|                 | 指導医として 件 |      |
| 6 多発性骨髄腫        | 担当医として 件 |      |
|                 | 指導医として 件 |      |

【血小板の異常】

| 疾患名              | 件数       | コメント |
|------------------|----------|------|
| 1 免疫性血小板減少症(ITP) | 担当医として 件 |      |
|                  | 指導医として 件 |      |

【貧血性疾患】

| 疾患名          | 件数       | コメント |
|--------------|----------|------|
| 1 再生不良性貧血    | 担当医として 件 |      |
|              | 指導医として 件 |      |
| 2 自己免疫性溶血性貧血 | 担当医として 件 |      |
|              | 指導医として 件 |      |

【移植】

| 疾患名                 | 件数       | コメント |
|---------------------|----------|------|
| 1 同種造血幹細胞移植         | 担当医として 件 |      |
|                     | 指導医として 件 |      |
| 2 自己末梢血幹細胞移植併用超大量療法 | 担当医として 件 |      |
|                     | 指導医として 件 |      |

【その他】

| 疾患名 | 件数       | コメント |
|-----|----------|------|
| 1   | 担当医として 件 |      |
|     | 指導医として 件 |      |
| 2   | 担当医として 件 |      |
|     | 指導医として 件 |      |
| 3   | 担当医として 件 |      |
|     | 指導医として 件 |      |
| 4   | 担当医として 件 |      |
|     | 指導医として 件 |      |
| 5   | 担当医として 件 |      |
|     | 指導医として 件 |      |

※行は適宜追加してご記入ください。

(様式4) 科学研究費等研究助成取得一覧

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_ 印

\* 過去10年間の科学研究費・財団等の研究助成実績について記載願います。

| 年号<br>(西暦) | 種類 | 研究課題名 | 代表・分担の別<br>(分担の場合は代表者名) | 継続にあつては、その年数 |
|------------|----|-------|-------------------------|--------------|
|            |    |       |                         |              |